

日差しが強まり、夏の訪れを感じる季節となりました。

夏は気温や湿度の上昇に伴い、ウイルスが活発になりやすく、夏に流行する感染症への注意が必要な時期です。子どもの三大夏風邪と呼ばれるプール熱、手足口病、ヘルパンギーナは毎年見られるため、日頃からこまめに手洗い・うがいを行い、十分な睡眠やバランスのよい食事をとって、元気に楽しい夏を過ごしましょう(^^)♪

5月、6月の利用人数 (延べ人数)

- ・風邪:94人
- ・ヒトメタニューモウイルス:46人
- ・RSウイルス:28人
- ・気管支炎:24人
- ・アデノウイルス:22人
- ・胃腸炎:8人
- ・溶連菌:6人
- ・サルモネラ腸炎、ヘルパンギーナ、
新型コロナウイルス:各3人
- ・突発性発疹、中耳炎、水痘:各2人
- ・気管支喘息:1人

合計244人でした。

咽頭結膜熱（プール熱）

飛沫感染、接触感染が感染経路です。家族みんなでこまめに手を洗い、タオルなどを共有するのは控えましょう。

○特徴

のどの痛み、結膜炎（目の充血、涙、目やに）、咳、鼻汁、嘔吐、下痢などの症状があり、38～40℃の発熱が3～5日続きます。

【登園再開の目安】

熱や目の症状が治まった後、**2日間経過してから登園が可能です。**

手足口病

便にウイルスが排出されるので注意が必要です。乳幼児のオムツ交換時には排泄物を適切に処理し、しっかり手洗いを行いましょう。

○特徴

口の中の粘膜や手のひら、足の裏、足の甲などに水泡性の発疹が現れて、1～3日間発熱することがあります。口の中に水泡ができ、痛みのため食べたり飲んだりすることを嫌がります。

手足の水泡はかさぶたにならずに治る場合が多く、一週間程度で無くなります。

【登園再開の目安】

発熱や口腔内の水泡の影響がなく、普段の食事がとれるようになってから登園してください。

ヘルパンギーナ

のどの痛みが強いため、食事や飲み物が摂取できなくなることがあります。脱水には気を付けましょう。

○特徴

39℃以上の突然の発熱が1～3日続きます。高熱から「熱性けいれん」を起こす場合もあります。のどが赤く腫れて小さな水泡ができます。

【登園再開の目安】

発熱や口腔内の水泡の影響がなく、普段の食事がとれるようになってから登園してください。

感染対策

○こまめに手洗い・うがい、消毒をする。

○バランスのとれた食事、十分な睡眠、体力づくりをするなど、免疫力を高める生活をする。

○汚物処理時は、使い捨ての手袋やマスクなどを着用し、十分に換気をする。

